

# 「奥能登絶景海道」の取り組み



奥能登岬みちづくり協議会





## 住宅や車両における被害

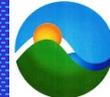






1. 「奥能登絶景海道」の紹介
2. 奥能登岬みちづくり協議会  
活動の状況
3. 活動を進める上での課題

# 1. 「奥能登絶景海道」の紹介



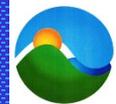
## すずし (1) 珠洲市の概要

人口：10,713人  
(R7.8.31現在 住民基本台帳人口)

面積：247.20km<sup>2</sup>

観光入込客数：約68万人 (R4年：年間)

# 1. 「奥能登絶景海道」の紹介



## (2) 「奥能登絶景海道」ルート

The map shows a blue route connecting several key locations in Okinada, Iwate Prefecture. The route starts at the coast near Wajima City (至 輪島市) and winds through the interior, ending back at the coast. Key landmarks and scenic spots are marked with orange dots and connected to their respective photos:

- 真浦海岸** (Maikuchi Coast): A rocky coastline with waves crashing against the shore.
- 揚げ浜塩田** (Ukagehama Salt Field): A traditional salt field where workers are seen harvesting salt.
- 木ノ浦海岸** (Kinokura Coast): A scenic view of a bay with green hills in the background.
- 緑剛埼灯台** (Ryokougai Lighthouse): A white lighthouse with a red base, surrounded by cherry blossoms.
- 須須神社** (Susu Shrine): A traditional wooden shrine building with a torii gate.
- 鉢ヶ崎海水浴場** (Hakigasaki Beach): A beach with many people swimming and sunbathing.
- 見附島** (Mitsuzumi Island): A large, dark rock formation in the sea.
- 倒さスギ** (Tosagi Sugi): A large, ancient tree that has fallen over.
- 里山の棚田** (Satoyama Terraced Rice Paddies): A lush green landscape with terraced rice paddies.

Two road stations are also marked on the route:

- 道の駅：すず塩田村** (Michi no Eki: Suzu Shioyama Village)
- 道の駅：すずなり** (Michi no Eki: Suzunari)

Another road station is marked as **道の駅：狼煙** (Michi no Eki: Ruyen).







### (1) これまでの主な活動

- H18. 7.18 「奥能登岬みちづくり協議会」設立
- H18. 9.25 ルート名称を「奥能登絶景海道」と決定
- H19. 2. 4 「シーニックバ イウェイフォーラム」開催（珠洲市）
- H19. 9. 7 「第2回 北陸風景街道交流会議」開催（珠洲市）
- H19.10.30 「奥能登絶景海道」が日本風景街道に正式認定
- H29.10.27-28 「日本風景街道大学  
奥能登絶景海道 珠洲キャンパス」開催（珠洲市）
- H29.10.28 「第11回 北陸風景街道交流会議」開催（珠洲市）



## (2) 最近の主な活動

### ① 「奥能登絶景海道カレンダー」の制作・販売

- \* H20年度より毎年制作・販売し、ご当地カレンダーとして定着
- \* R6年度は日本風景街道コミュニティの臼井理事を発起人としてチャリティー カレンダーを製作、全国道の駅などで販売、売上金の一部367万7,000円を震災復興支援分として寄付

日本風景街道選定ルート「奥能登絶景海道」  
能登半島地震復興支援カレンダー

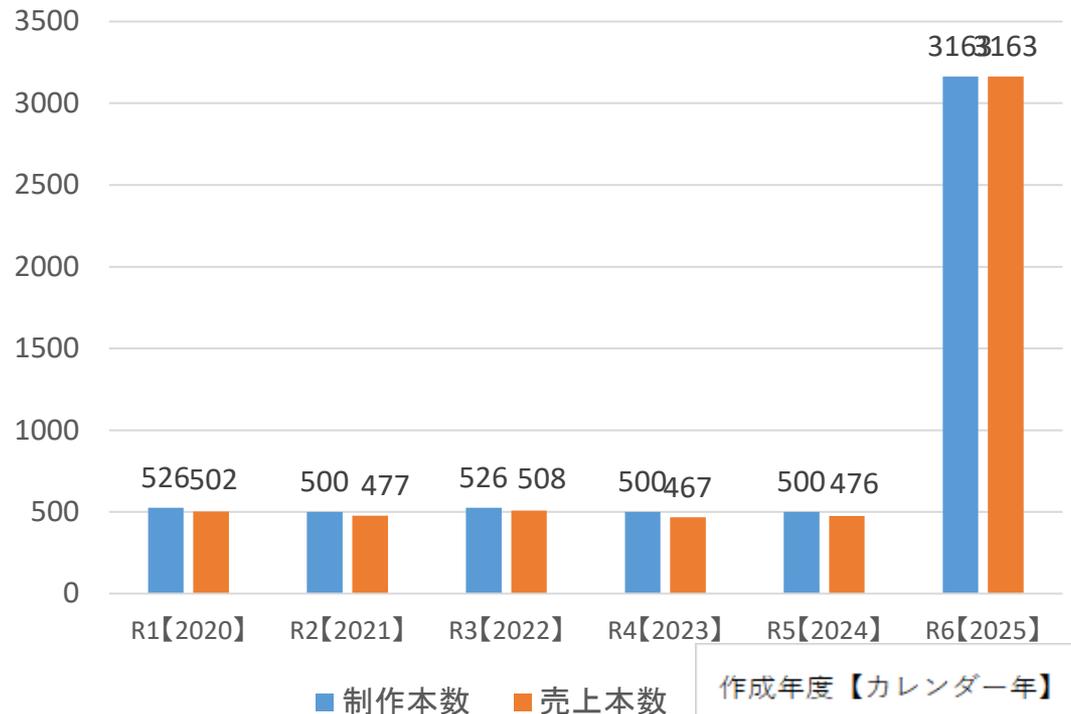
1部 (税込)  
**1,600円**  
サイズ：A4  
(見開きA3)

奥能登絶景海道カレンダー  
2025

令和6年能登半島地震復興支援カレンダー

2025年度 奥能登絶景海道カレンダーは、令和6年1月1日の能登半島地震や、同年9月の豪雨被害にあつた被災支援のチャリティーカレンダーとして発行いたします。  
1部1,600円で、うち500円を珠洲市に寄付します。

奥能登岬みちづくり協議会  
〒927-1295 石川県珠洲市上戸町北方1-6-2  
(事務所：珠洲市観光交流課内 TEL：0768-82-7776)



# 2. 活動の状況



## ②オリジナルグッズの開発・販売

絶景ポストカード



トートバッグ



NEW!!

GOTOSUZUロゴ  
タオル・Tシャツ

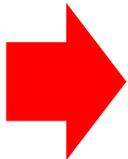


NEW!!

負けとられん珠洲  
缶バッジ・ステッカー



市内道の駅で  
販売



グッズ販売 = 協議会運営資金



## (1) 自主財源の確保

H28年度より行政からの支援は市の負担金（10万円）のみとなっており、協議会の活動を継続していくため、自主財源の確保が課題となっている。

また、地震以降、事業を再開できない事業者が多く、道の駅の商品が不足している。



すでに定着しているグッズを引き続き製作・販売するとともに、新グッズの開発に取り組み、今後も「奥能登絶景海道」の魅力をもPRしていくとともに、利益を景観維持等の活動に運用していきたい。

# 絶景街道 今後の展望











HELICOPTER

HELICOPTER

HELICOPTER





動画 (1分30秒)





QIANG ZHANG  
NASDAQ LISTED

AOTAKA  
PLUS

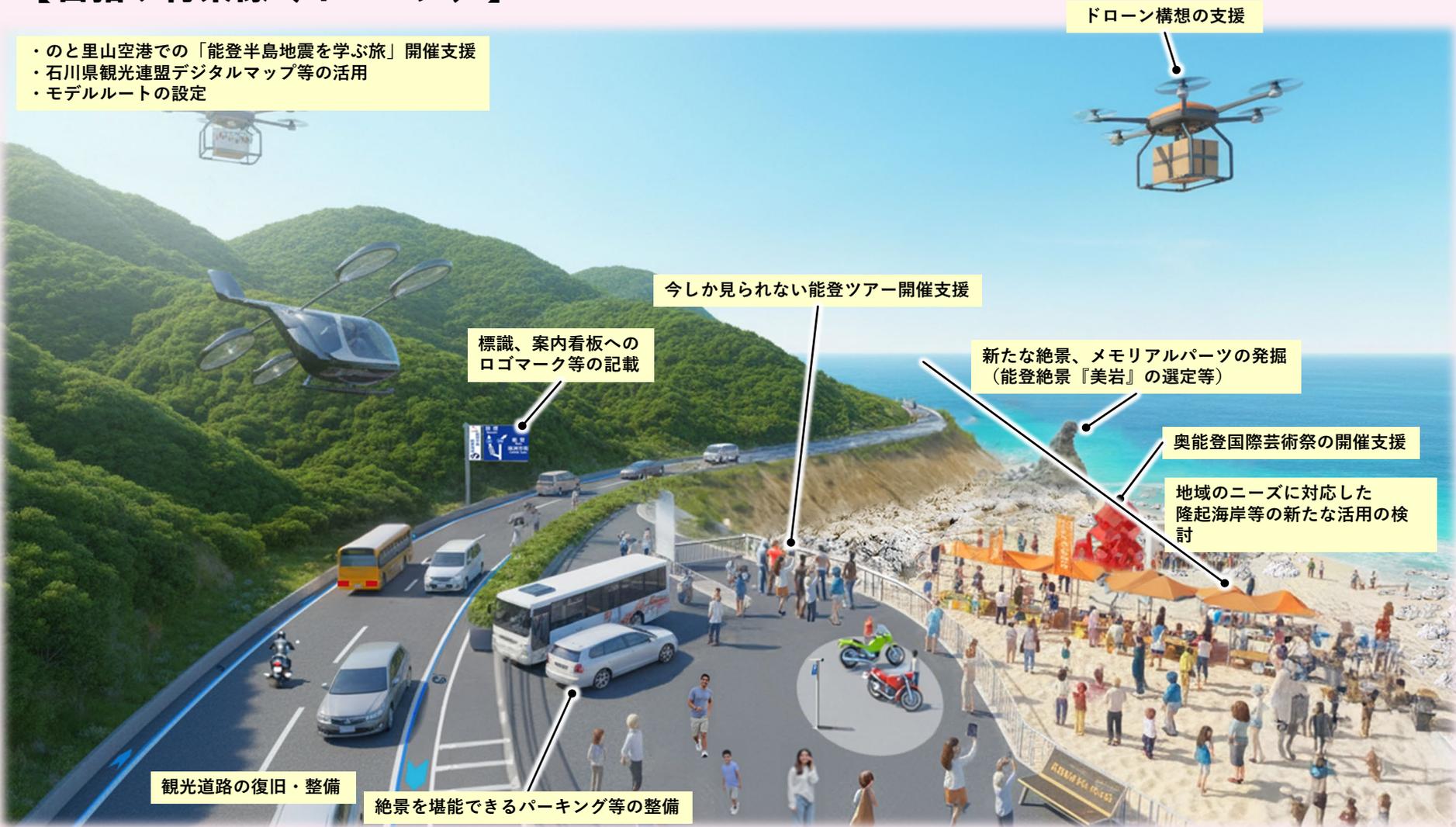
KINROSSIA



# 1. 能登の魅力を「ぐるっと感動！」

## 【目指す将来像（イメージ）】

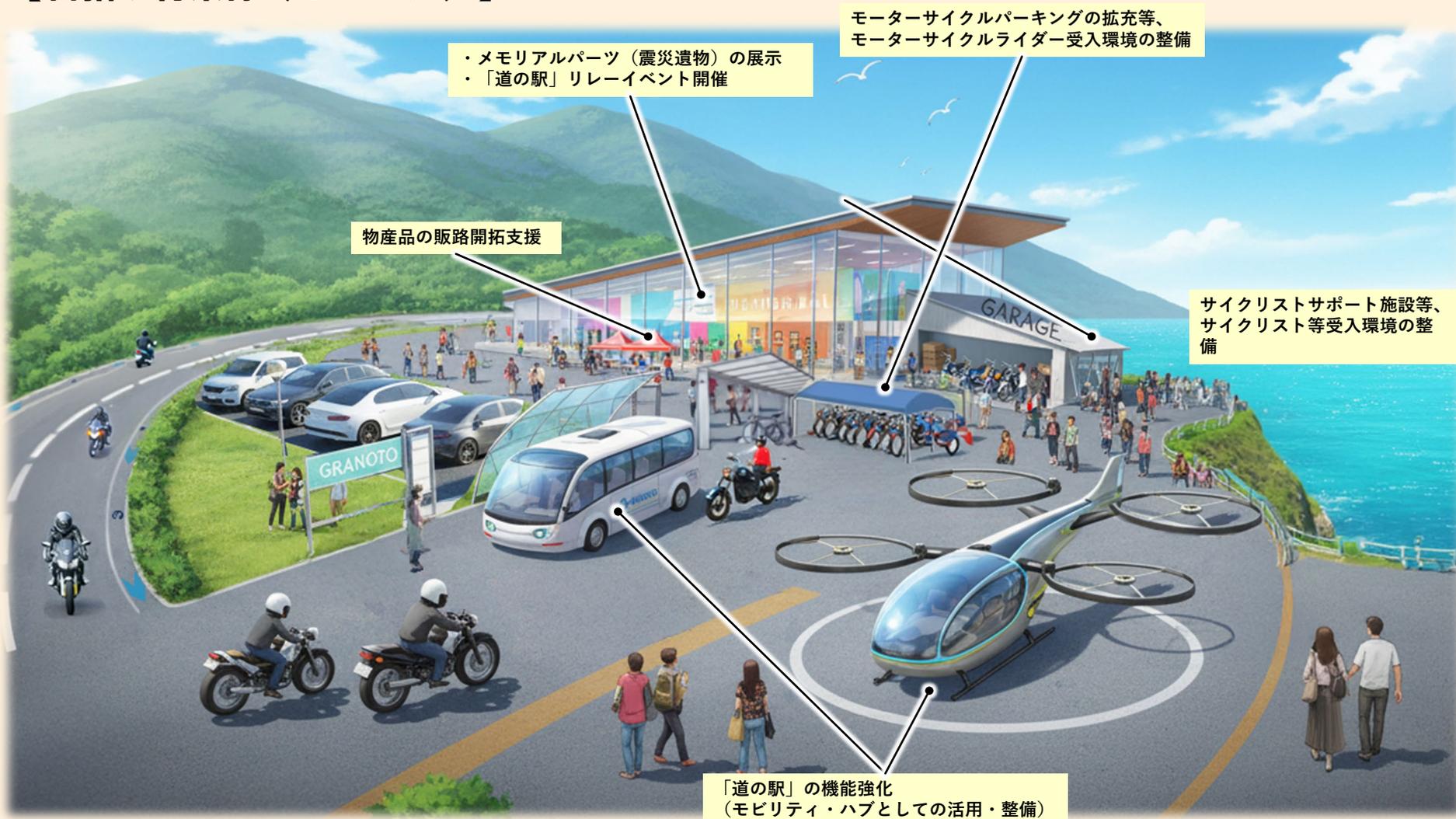
- ・のと里山空港での「能登半島地震を学ぶ旅」開催支援
- ・石川県観光連盟デジタルマップ等の活用
- ・モデルルートの設定



新たな絶景スポットには、地域の魅力に出会い、震災を振り返ることができるような目的地となる道の駅やパーキングを整備し、これらと能登の主要施設には、空飛ぶ車の拠点として利用できるパーティポートの設置を目指します。平時は空から絶景を楽しめる観光拠点として、国内外からのインバウンドも取り込み交流人口の拡大を図ります。また、有事の際は、支援物資や住民・観光客の避難経路・物流拠点として活用し、災害に強い能登半島を目指します。

## 2. 人が集まる「道の駅」へ

### 【目指す将来像（イメージ）】



震災を含めた地域の歴史や文化に出会える魅力的な道の駅を整備します。また、「AI多言語観光案内」「AI地域語り部」「AI施設管理」などAI技術を活用し、能登を訪れたすべての方を包み込むようにお迎えする場所として整備を推進します。自動運転のサービス拠点となる可能性を見据えた整備を推進するほか、車だけでなくバイク、自転車、空飛ぶ車やドローンなどのあらゆる交通手段の結節点を目指し、地域住民・観光客双方が交流する便利で地域の賑わいを創出するエリアを目指します。

# 3. じてんしゃ旅、ふたたび

## 【目指す将来像（イメージ）】

- ・サイクリストサポート施設等、サイクリスト等受入環境の整備
- ・いしかわ里山里海サイクリングルートでのナショナルサイクリングルート指定を目指した取り組みの推進
- ・モデルコース（難易度、ターゲット別）の設定
- ・インバウンドに対応したサイクルガイドの育成

サイクルツーリズムと連携したイベントの開催

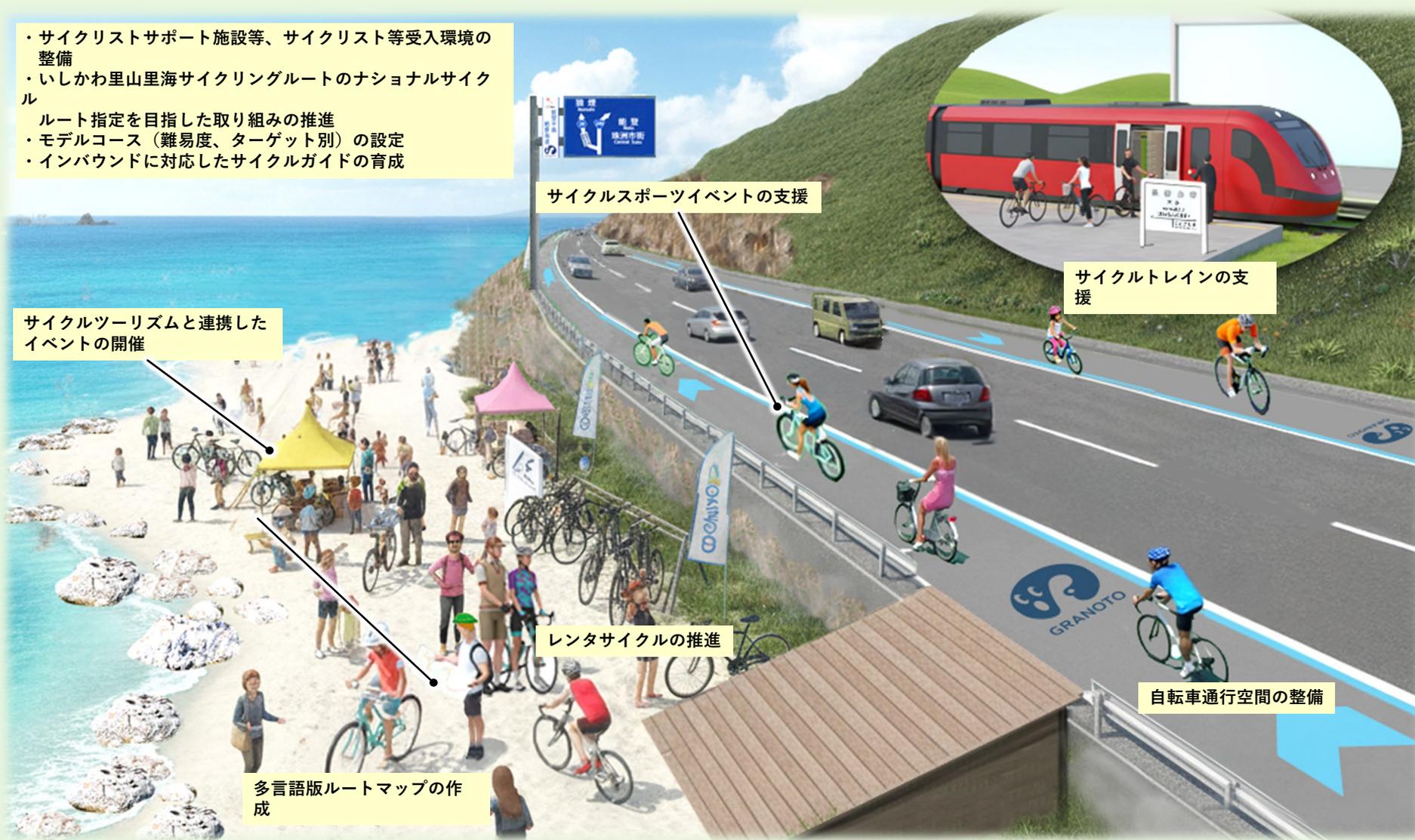
多言語版ルートマップの作成

サイクルスポーツイベントの支援

レンタサイクルの推進

サイクルトレインの支援

自転車通行空間の整備



能登半島絶景海道の沿線を全国でもここで見られない魅力的なサイクリングエリアとして整備を推進します。また、道路空間の再配分により、自動車・自転車双方が安全・快適に走行できる空間を整備します。あわせて、海外エージェント、インフルエンサーの招聘や情報提供・発信を通じて、全世界のサイクルライダーへ、能登の魅力の海外浸透を図ります。

# 4. 風景街道がつむぐ絆を未来へ

## 【目指す将来像】

- ・能登半島国定公園の拡張支援
- ・絶景を眺望できるパーキング等の整備
- ・「つなげよう絶景海道」クラフトコンテスト開催
- ・トキをシンボルとした地域活性化の推進
- ・能登駅伝復活の支援
- ・標識、案内看板へのロゴマーク等の記載
- ・復興イベントの開催
- ・ツーリングイベント（にっぽん応援ツーリング、SSTR等）との連携

各種団体との協体制構築

地域と企業コラボした  
オリジナルグッズ開発

観光ガイド（震災の語り部）等による  
震災の記憶の伝承

オリジナルグッズの  
企画・販売

民間企業との連携による  
新たな取り組みの推進

震災を踏まえ、観光地域づくり団体（DMO等）、スタートアップ企業、ローカル・ゼブラ企業や能登地域で頑張る多様なステークホルダーを巻き込み、魅力的な風景街道を構成していきます。また、震災の記憶を伝承する「語り部観光ガイド」や能登半島絶景海道を活用した「能登駅伝の復活」など、日本風景街道からはじまる地域の「稼ぐ力」を引き出し、これらの取り組みを担う次世代の人材の育成を図り、「みち」を舞台とした持続可能な様々な交流を推進します。

ご清聴ありがとうございました。